

獣医師通信

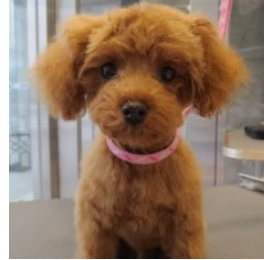
もうすぐ梅雨に入りますね。昼夜の温度差や湿度の変化が激しいと、ワンちゃんやネコちゃんは体調を崩しやすくなります。元気や食欲がないときは、獣医師に相談してください。

看護師通信

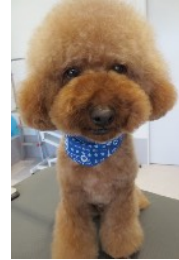
ネコちゃん用のアレルギー食が新しく発売されました。アレルギーでお困りのネコちゃんは獣医師に相談の上、ぜひお試しください。

トリマー通信

6月中はいつでもポイント2倍！雨の日は3倍です！ぜひこの機会にご利用ください。



斎藤ハッチくん



鈴木ちゃちゃ丸くん

Facebook始めました！

さがみ総合どうぶつ医療センターがFacebookを始めました。新商品やわんちゃん・ねこちゃんの生活のお役立ち情報も更新しています♪ぜひ、チェックしてみてください。QRコードはこちら→



獣医師コラム

糖尿病の診断について

天気や自然の移り変わりに、季節の変化を感じることができるようになりました。雨が続く日も多くなっていますが、わんちゃんや猫ちゃんといかがお過ごしでしょうか。

さて、当院では2018年3月にIDEXX LABORATORIESから発売された血液検査の「フルクトサミン試薬スライド」をいち早く導入致しました。「フルクトサミン」は、動物医療で国際的に多くのエビデンスを持つ**血糖値マーカー**であり、**糖尿病の診断・モニタリング**が可能です。糖尿病の正確な診断/モニタリングには、血糖値に加え長期間の血糖値の変化を測るマーカーが有用であり、「フルクトサミン」は、わんちゃん・猫ちゃんの過去2～3週間の血糖値を反映しています。今までは外注検査を行い、結果をお伝えするのに時間を頂いておりましたが、「フルクトサミン」を導入したことで、院内で簡便に検査ができるようになりました。

わんちゃんや猫ちゃんの糖尿病は、**多飲多尿・体重減少**といった典型的な症状と空腹時の**高血糖**（猫では持続的な空腹時高血糖）と尿中に血糖が出てしまう**尿糖陽性**といった3項目が揃えば糖尿病ということになります。糖尿病の原因となる基礎疾患が隠れている可能性や、糖尿病によって重篤な合併症が起きてしまうこともあります。糖尿病の治療目標は、多飲多尿の改善や合併症の予防であり、そのために、食事療法や適度な運動、インスリン治療が必要となります。

そして、糖尿病の重症度の診断や治療効果を評価するためには、前述した通り、過去2～3週間の血糖値を反映している「フルクトサミン」の測定が重要となってきます。この検査が院内で行えるようになり、治療を見直して、その場でインスリン量等を相談することが可能となったため、わんちゃんや猫ちゃん、オーナーの皆様にとっても安心の検査だと思えます。

糖尿病に関してお困りのことや、気になることがありましたらお気軽にご相談ください。

獣医師 石原裕美